



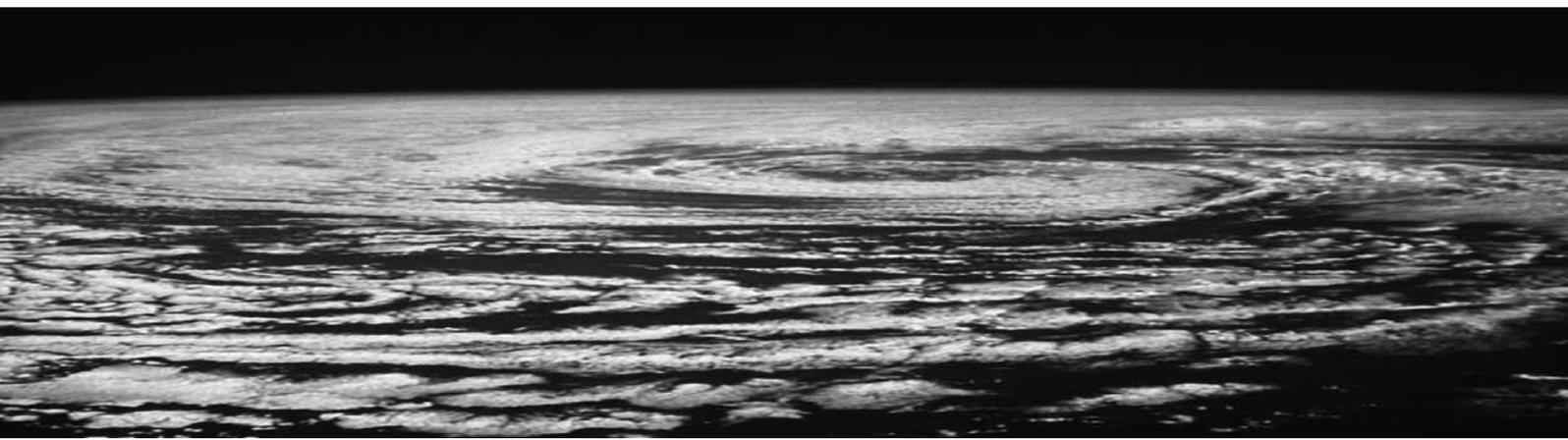
環境経済・政策学会 2009年大会

9月26日(土)～27日(日) 主催：環境経済・政策学会

公開シンポジウム グリーン・ニューディールとその背景

9月26日(土) 14:30～17:00 主催：環境省 環境経済・政策学会

会場 千葉大学西千葉キャンパス総合校舎



環境経済・政策学会 2009年大会全体スケジュール

9月26日(土)

- 8:00～ 受付開始(総合校舎D号館1階)
9:00～11:55 分科会Ⅰ(A～O会場)
11:55～13:00 昼休み
13:00～13:30 学会総会(総合校舎B号館)
13:30～14:10 会長講演(総合校舎B号館)
「持続可能な発展を巡る諸問題」 植田和弘 環境経済・政策学会会長
14:30～17:00 公開シンポジウム(詳しくは右のページをご覧ください)
18:30～21:00 懇親会
懇親会会場 イル・ミラマーレ tel: 043-222-2115
京成千葉中央駅直結 京成ホテル ミラマーレ16階 スカイバンケット

9月27日(日)

- 8:30～ 受付開始(総合校舎D号館1階)
9:20～12:15 分科会Ⅱ(A～O会場)
12:15～13:20 昼休み
13:20～15:00 分科会Ⅲ(A～N会場)
15:15～16:55 分科会Ⅳ(A～E・H～N会場)

大会事務局

千葉大学法経学部 倉阪秀史研究室
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
e-mail: sec@cs2009.sustainable-zone.org

学会ウェブサイト

<http://www.soc.nii.ac.jp/seeps/>

大会プログラムは変更される場合があります
学会ウェブサイトにて最新情報をご確認ください

公開シンポジウム

グリーン・ニューディールとその背景

コペンハーゲン気候協議会が今年5月に公表した「Green Jobs and the Clean Energy Economy」の著者であるバークレイ環境研究所教授のDaniel M. Kammen博士を基調講演者として招き、グリーン・ニューディールの考え方と経済学的な背景について、基調講演とパネルディスカッションを行います。

日時 2009年9月26日(土) 14:30~17:00

場所 千葉大学西千葉キャンパス総合校舎B号館

言語 日英同時通訳

主催 環境省 環境経済・政策学会

プログラム

14:30~15:30 基調講演

Dr. Daniel M. Kammen

"Green Jobs and the Clean Energy Economy"

15:30~15:40 休憩

15:40~17:00 パネルディスカッション

パネリスト

Dr. Daniel M. Kammen バークレイ環境研究所教授

植田和弘 京都大学大学院経済学研究科教授 環境経済・政策学会会長

木内 孝 株式会社イースクエア代表取締役会長

三好信俊 環境省総合環境政策局審議官

コーディネータ

倉阪秀史 千葉大学法経学部教授

このシンポジウムは一般公開されます

このシンポジウムの参加費は無料です

環境経済・政策学会 2009 年大会分科会スケジュール

会場	分科会 I (P.1 ~) 9月26日(土) 9:00 ~ 11:55	分科会 II (P.4 ~) 9月27日(日) 9:20 ~ 12:15	分科会 III (P.8 ~) 9月27日(日) 13:20 ~ 15:00	分科会 IV (P.12 ~) 9月27日(日) 15:15 ~ 16:55
A会場 D 2 2	温暖化： ポスト 2012	温暖化： 国内政策 (1)	温暖化： 国内政策 (2)	温暖化： 国内政策 (3)
B会場 D 2 3	企画 持続可能性のための環境政策統合：地域における現状と課題	温暖化： その他	温暖化： データ分析 (1)	温暖化： データ分析 (2)
C会場 D 2 4	環境税・排出課徴金	貿易と環境	排出量取引 (1)	排出量取引 (2)
D会場 D 3 2	環境評価 (1)	環境評価 (2)	企画 環境評価チュートリアル： 最新テクニックすべて教えます	
E会場 D 3 3	LCA・ラベリング	環境指標	廃棄物政策 (1)	廃棄物政策 (2)
F会場 D 3 4	国際資源循環	リサイクル政策	アジア・途上国： その他	
G会場 D 4 2	再生可能エネルギー (1)	再生可能エネルギー (2)	再生可能エネルギー (3)	
H会場 D 4 3	C S R	環境マネジメントシステム	環境保全意識とライフスタイル (1)	環境保全意識とライフスタイル (2)
I会場 D 4 4	企画 資源と管理： 水産業におけるケーススタディ	環境技術・環境ビジネス	企画 経済変動を考慮した国際資源循環の国内対応と国際対応	
J会場 D 5 2	企画 国際環境協力研究の到達点と今後の展望	地域	農業・食料	コモンズ
K会場 D 5 3	アジア・途上国： 中国	漁業・海洋生態系	企画 捕鯨論争の「解剖学」	
L会場 D 5 4	企画 生物多様性政策を取り巻く新しい動き	流域管理	企画 東アジアの持続可能な発展と環境財政改革	
M会場 A 2 0 1	環境ガバナンス (1)	環境ガバナンス (2)	企画 温室効果ガス削減の中期目標に向けたこれまでの検討と今後の見通し・日本の進路	
N会場 A 2 0 2	環境経済理論： 環境と経済成長	環境経済理論： モデル分析 (1)	環境経済理論： モデル分析 (2)	環境経済理論： モデル分析 (3)
O会場 A 2 0 3	英語セッション (1)	英語セッション (2)		

環境経済・政策学会 2009 年大会分科会プログラム

分科会 I 9月26日(土) 9:00~11:55

A1 温暖化：ポスト2012 A会場 D22

座長：李志東（長岡技術科学大学）

1 中国の温暖化防止戦略に関する研究

○李志東（長岡技術科学大学）

討論者：明日香寿川（東北大学）

2 日本とヨーロッパにおける自動車温暖化政策と、ポスト2012をめぐる国際交渉の行方に関する一考察：政策ネットワークアプローチを用いて

○井口正彦（東京工業大学）

討論者：山口光恒（東京大学）

3 鉄鋼業における省エネルギー技術の移転・普及の加速に関する考察、鉄鋼業のセクトラル・アプローチの実際

○岡崎照夫（新日本製鐵(株)）・山口光恒（東京大学）

討論者：李志東（長岡技術科学大学）

4 歴史的排出量に基づく責任と排出削減目標

○西本裕美（京都大学）・松岡譲（京都大学）

討論者：森俊介（東京理科大学）

B1 企画 持続可能性のための環境政策統合：地域における現状と課題 B会場 D23

座長：松下和夫（京都大学）

討論者：一方井誠治（京都大学）・仲上健一（立命館大学）・宮永健太郎（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）

1 持続可能性のための環境政策統合

○松下和夫（京都大学）

2 政策過程論からみた環境政策統合の促進要因と阻害要因

○大野智彦（京都学園大学）

3 地域における森林・林業政策と環境政策の矛盾した構造と対応

○井坂暢也（京都大学大学院）

4 日本の国立公園における主体間連携と順応的管理の取組－自然保護ガバナンスの視点から

○田中俊徳（京都大学大学院）

C1 環境税・排出課徴金 C会場 D24

座長：亀山康子（国立環境研究所）

1 気候変動対策に関連した国境調整に対する認識の日欧米比較

○亀山康子（国立環境研究所）・高村ゆかり（龍谷大学法学部）

討論者：有村俊秀（上智大学）

2 Short-term Dynamic Effects of Carbon Tax Based on the Imputed Price of Carbon

○松本健一（国立環境研究所）・増井利彦（国立環境研究所）

討論者：川崎賢太郎（農林水産政策研究所）

3 オークション型環境支払とコンプライアンス行動：理論分析と経済実験

○川崎賢太郎（農林水産政策研究所）・藤栄剛（滋賀大学）・小糸健太郎（酪農学園大学）・井上憲一（島根大学）・

佐々木宏樹（OECD）

討論者：草川孝夫（広島修道大学）

D1 環境評価（1） D会場 D32

座長：栗山浩一（早稲田大学）

1 メタ分析による環境ラベルのWTP関数の推計と心理変数 σ の考察

○村上佳世（京都大学）

討論者：柘植隆宏（甲南大学）

2 森林の多面的機能の評価に対する支払意思額の要因分析について 審議的貨幣評価（DMV）を用いて

○野本幸治（長崎大学）・姫野順一（長崎大学）

討論者：加藤尊秋（北九州市立大学）

3 仮想評価法（CVM）における回答行動の分析：回答時間に着目して

○加藤尊秋（北九州市立大学）・肥田野登（東京工業大学）

討論者：寺脇拓（立命館大学）

4 自発的労働供給により顕示される森林生態系に対する選好

○寺脇拓（立命館大学）

討論者：栗山浩一（早稲田大学）

E1 LCA・ラベリング E会場 D33

座長：森口祐一（国立環境研究所）

- 1 社会資本のLCAにおける時間バウンダリの取り扱いに関する検討
○柴原尚希（名古屋大学）・加藤博和（名古屋大学）
討論者：森口祐一（国立環境研究所）
- 2 自治体の廃棄物処理における広域化とBAS評価
○皆川雅志（早稲田大学）・小西洋紀（早稲田大学）・小沢俊明（早稲田大学）・胡浩（早稲田大学）・小野田弘士（早稲田大学）・永田勝也（早稲田大学）・長田守弘（新日鉄エンジニアリング）
討論者：石川雅紀（神戸大学）
- 3 日本の主要食料消費における温室効果ガス排出のライフサイクル分析とその削減ポテンシャルの評価
○吉川直樹（立命館大学）・天野耕二（立命館大学）・島田幸司（立命館大学）
討論者：加藤博和（名古屋大学）

F1 国際資源循環 F会場 D34

座長：小島道一（アジア経済研究所）

- 1 金属資源の供給限界による市場価格および生産手段への影響
○原美永子（日本電信電話株式会社）・小川重男（日本電信電話株式会社）・高橋和枝（日本電信電話株式会社）・國岡達也（日本電信電話株式会社）・中村二郎（日本電信電話株式会社）
討論者：阿部新（山口大学）
- 2 自動車の越境リサイクルにおける論点整理
○阿部新（山口大学）
討論者：小島道一（アジア経済研究所）
- 3 環境政策の実施によるアジア諸国における二次精錬鉛生産量の変化 — 応用一般均衡モデルによるシミュレーション —
○牧野良次（産業技術総合研究所）・山崎雅人（上智大学）
討論者：原美永子（日本電信電話株式会社）
- 4 使用済み製品の拡大輸出者責任について
○吉野敏行（人間環境大学）
討論者：牧野良次（産業技術総合研究所）

G1 再生可能エネルギー（1） G会場 D42

座長：林岳（農林水産省農林水産政策研究所）

- 1 クリーン自動車の導入における外部便益の比較分析：ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車
○齋藤文（みずほ情報総研）・板岡健之（みずほ情報総研）・赤井誠（産業技術総合研究所）
討論者：松橋啓介（国立環境研究所）
- 2 風力発電の国際比較 — 財務分析と地域経営の視点から —
○瀬川久志（東海学園大学）・清水幸丸（名古屋産業大学）
討論者：山下紀明（環境エネルギー政策研究所）
- 3 バイオ燃料のガソリン代替による環境と経済への影響評価
○林岳（農林水産省農林水産政策研究所）・山本充（小樽商科大学）・増田清敬（滋賀県立大学）・高橋義文（北星学園大学）
討論者：板岡健之（みずほ情報総研）
- 4 日本における地域自然エネルギー政策・事業推進の組織的課題 備前グリーンエネルギーを事例として
○井筒耕平（備前グリーンエネルギー株式会社）・古屋将太（Aalborg University）・飯田哲也（（株）環境エネルギー政策研究所）
討論者：林岳（農林水産省農林水産政策研究所）

H1 CSR H会場 D43

座長：伴金美（大阪大学）

- 1 企業が化学物質のリスクを削減する動機は何か？：日本のPRTR制度を使った実証研究
○小俣幸子（東京工業大学）
討論者：山口恵子（岡山大学）
- 2 環境記事が企業の株価に与える影響
○伊藤豊（横浜国立大学）・馬奈木俊介（横浜国立大学）
討論者：伴金美（大阪大学）
- 3 社会的責任投資は環境負荷削減に寄与できているのか？
○本田智則（産業技術総合研究所）・稲葉敦（工学院大学）
討論者：内田俊博（高崎経済大学）

I 1 企画 **資源と管理：水産業におけるケーススタディ** I会場 D44
座長：馬奈木俊介（横浜国立大学）

- 1 **資源管理による費用削減の可能性**
馬奈木俊介（横浜国立大学）・○八木迪幸（横浜国立大学）
討論者：河田幸視（帯広畜産大学）
- 2 **ITQは機能するのか — インプットコントロールとストックコントロールの重要性 —**
○東田啓作（関西学院大学）・寶多康弘（南山大学）
討論者：前田章（京都大学）
- 3 **国際貿易と水産資源**
○寶多康弘（南山大学）
討論者：柳瀬明彦（東北大学）
- 4 **水産エコラベリングの発展可能性 — ウェブ調査による需要分析 —**
○森田玉雪（GRIPS）・馬奈木俊介（横浜国立大学）
討論者：柘植隆宏（甲南大学）

J 1 企画 **国際環境協力研究の到達点と今後の展望** J会場 D52
座長：寺西俊一（一橋大学）
討論者：太田宏（早稲田大学）・稲田十一（専修大学）

- 1 **国際環境協力研究の到達点と課題：EKC研究や環境ガバナンス研究を中心に**
○松岡俊二（早稲田大学）・松本礼史（日本大学）・田中勝也（滋賀大学）・Lee Alice Park（早稲田大学）
- 2 **環境ODAの効果：省エネプロジェクトを例として**
藤倉良（法政大学）・○小松悟（広島大学）・金子慎治（広島大学）
- 3 **国際環境協力における衡平性・効率性・持続性**
○森晶寿（京都大学）

K 1 **アジア・途上国：中国** K会場 D53
座長：白川博章（名古屋大学）

- 1 **持続可能な発展への中国都市環境制度問題点に関する研究**
○周夏露（北九州市立大学）
討論者：大塚健司（アジア経済研究所）
- 2 **都市の環境ガバナンスに関する研究 — 北京市の自動車環境政策を例として —**
○于海濤（京都大学）
討論者：兒山真也（兵庫県立大学）
- 3 **上海における自動車排ガス汚染の推移と課題**
○傅喆（一橋大学大学院）
討論者：白川博章（名古屋大学）
- 4 **中国の自動車リサイクル部品の活用による環境負荷削減効果の定量分析 — 再製造部品（エンジン）に関するLCA分析を事例として —**
○王舟（立命館大学）・小幡範雄（立命館大学）・燕乃玲（上海浦東幹部学院）
討論者：平岩幸弘（一橋大学）

L 1 企画 **生物多様性政策を取り巻く新しい動き** L会場 D54
座長：林希一郎（名古屋大学）
討論者：藤川清史（名古屋大学）・吉田謙太郎（長崎大学）

- 1 **生物多様性政策における新しい革新的な資金メカニズムの国際的論点**
○林希一郎（名古屋大学）
- 2 **REEDと生態系サービス**
○百村帝彦（地球環境戦略研究機関）・西宮洋（地球環境戦略研究機関）
- 3 **生物多様性オフセットの活用**
○伊東英幸（名古屋大学）・林希一郎（名古屋大学）
- 4 **生物多様性とマーケティング**
○服部徹（NPO法人 アースデイ・エブリデイ）

M1 環境ガバナンス（1） M会場 A201

座長：植田和弘（京都大学）

- 1 NPO 論から見た環境ガバナンスと NPO — 新たな理論的枠組みとその政策的含意 —
○宮永健太郎（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）
討論者：喜多川進（山梨大学）
- 2 拡大生産者責任の起源 — ドイツ容器包装令の環境政策史 —
○喜多川進（山梨大学）
討論者：及川敬貴（横浜国立大学）
- 3 アスベスト災害と政治経済学 — カップの社会的費用論を手がかりとして —
○南慎二郎（立命館大学）
討論者：除本理史（東京経済大学）
- 4 持続可能性の視点と循環政策に関する研究
○崔徳軍（上智大学）
討論者：植田和弘（京都大学）

N1 環境経済理論：環境と経済成長 N会場 A202

座長：鷺田豊明（上智大学）

- 1 環境補助金政策に対するエージェントシミュレーションを用いた生産者変動分析
○井元智子（統計数理研究所）・樋口知之（統計数理研究所）
討論者：畠瀬和志（神戸大学）
- 2 Mitigation, Adaptation and Growth 温暖化対策資本と経済成長
○有野洋輔（慶応義塾大学）
討論者：鷺田豊明（上智大学）
- 3 環境政策、グリーンイノベーションと持続的経済成長
○谷晶紅（九州大学）
討論者：中田実（名古屋大学）

O1 英語セッション（1） O会場 A203

座長：井村秀文（名古屋大学）

- 1 Dynamic impact of urbanization on sectoral energy use : Evidence from cross-country data
○Phetkeo Poumanyvong（広島大学大学院国際協力研究科）・Shinji Kaneko（広島大学大学院国際協力研究科）
討論者：井村秀文（名古屋大学）
- 2 CAN HYPOTHETICAL BIAS BE MITIGATED : The effects of Certainty Question, Cheap Talk, and Pledge
○Essam Yassin Mohammed（Nagoya University, Graduate School of International Development）
討論者：薫祥哲（南山大学）
- 3 Assessment of the Fuel Switching Policies in Indonesia ; Cases of the Kerosene and LPG consumption in the Household Sector
○Mohammad Herman Sulistiyo（Hiroshima University）・Adityawarman（Hiroshima University）・Satoru Komatsu（Hiroshima University）・Shinji Kaneko（Hiroshima University）
討論者：木船久雄（名古屋学院大学）

分科会 II 9月27日（日）9:20～12:15

A2 温暖化：国内政策（1） A会場 D22

座長：戸田常一（広島大学）

- 1 広島市における「環境に配慮した」交通政策
○合原取（西日本旅客鉄道（株））
討論者：戸田常一（広島大学）
- 2 Decentralization and Low Carbon Transport: The Cases of India and Indonesia
○木村ひとみ（地球環境戦略研究機関）・Eric Zusman（地球環境戦略研究機関）
討論者：松岡俊二（早稲田大学）
- 3 青森県中南地域のバイオマス事業を対象とした環境会計モデルの構想
○金藤正直（弘前大学人文学部）・八木裕之（横浜国立大学経営学部）
討論者：瀬川久志（東海学園大学）
- 4 ガソリンの価格と消費量の長期的関係に基づく消費量の削減見込み
○松橋啓介（国立環境研究所）・近藤美則（国立環境研究所）
討論者：藤川清史（名古屋大学）

B2 温暖化：その他 B会場 D23

座長：兒山真也（兵庫県立大学）

- 1 気候変動による水資源の変動が中国の社会経済活動に与える影響の評価
○張曉曦（NTT 環境エネルギー研究所）・増井利彦（国立環境研究所）
討論者：長谷川良二（茨城大学）
- 2 韓国のCO₂とSO₂排出要因分析と日韓環境クズネッツ曲線比較
○金斗元（立命館大学大学院政策科学研究科）
討論者：近江貴治（日通総合研究所）
- 3 運輸部門におけるCDM方法論に係る考察
○近江貴治（日通総合研究所）・中村仁志（三菱UFJ証券）・石井晶子（三菱UFJ証券）
討論者：兒山真也（兵庫県立大学）

C2 貿易と環境 C会場 D24

座長：大塚直（早稲田大学）

- 1 金属スクラップ火災の発生状況と輸出に関わる法的課題の検討
○吉田綾（国立環境研究所）・寺園淳（国立環境研究所）・鶴田順（海上保安大学校）
討論者：坂田雅夫（北海道大学）
- 2 国際貿易とエネルギー利用
○鶴見哲也（横浜国立大学）・馬奈木俊介（横浜国立大学）・日引聡（国立環境研究所）
討論者：林宰司（滋賀県立大学）
- 3 国境税調整と国際環境影響効果
○鄭雨宗（福岡工業大学）
討論者：鶴見哲也（横浜国立大学）
- 4 FTA、EPA または投資協定における取用条項と環境保護目的規制
○坂田雅夫（北海道大学）
討論者：鄭雨宗（福岡工業大学）

D2 環境評価（2） D会場 D32

座長：吉田謙太郎（長崎大学）

- 1 The Effects of Ecological Information Provision on Preferences for Ecosystem Restoration
○三谷羊平（コロラド大学・学振）
討論者：寺脇拓（立命館大学）
- 2 森林生態系における生物多様性の存在価値分析 選択型実験による経済評価とプロフィール属性の順序効果検証 Existence Value on Forest Ecosystem Biodiversity : Choice Experiment Approach and Attribute Order Effect within Profile
○大床太郎（神戸大学）・吉田謙太郎（長崎大学）・山下真梨（筑波大学）
討論者：三谷羊平（コロラド大学）
- 3 表明選好および顕示選好データによる水難事故リスク削減効果の便益評価
○奥山忠裕（運輸政策研究機構）
討論者：吉田謙太郎（長崎大学）

E2 環境指標 E会場 D33

座長：古沢広祐（国学院大学）

- 1 A Simple Numerical Study on Sustainable Development with Genuine Saving
○佐藤真行（京都大学）・サムレト・ソワンルン（京都大学、日本学術振興会）・山田克宣（大阪大学）
討論者：上須道徳（大阪大学）
- 2 持続可能性指標としての民主主義 — スウェーデンと日本での「理想の社会調査 Part II」より —
○大橋照枝（麗澤大学）・木俣信行（鳥取環境大学）
討論者：中野桂（滋賀大学）
- 3 政策目標としての持続可能性指標
○野上裕生（日本貿易振興機構アジア経済研究所）
討論者：古沢広祐（国学院大学）
- 4 「持続可能な発展」指標の将来値の推計方法に関する研究
○時松宏治（エネルギー総合工学研究所）・佐藤真行（京都大学）・山口臨太郎（京都大学）
討論者：中田実（名古屋大学）

F2 リサイクル政策 F会場 D34

座長：山川肇（京都府立大学）

- 1 引取要求の経済分析 — 家電リサイクル法のケース —
○赤石秀之（法政大学大学院経済学研究科）
討論者：田崎智宏（国立環境研究所）
- 2 韓国の廃家電リサイクル政策：実践と課題
○羅星仁（広島修道大学）
討論者：外川健一（熊本大学）
- 3 名古屋市と釜山広域市における3R政策の相違を説明する：国・地域レベルでの政策プロセスと”市民”参加に着目して
○高橋若菜（宇都宮大学）・鈴木克徳（金沢大学）・柳下正治（上智大学）・趙希庭（上智大学）
討論者：山川肇（京都府立大学）
- 4 持続可能な都市における都市物質代謝管理と循環型社会形成
○芳賀普隆（京都大学）
討論者：吉田文和（北海道大学）

G2 再生可能エネルギー（2） G会場 D42

座長：仲上健一（立命館大学）

- 1 カリフォルニア州のRPS制度の経験
○木村啓二（（有）ひのでやエコライフ研究所）
討論者：周イ生（立命館大学）
- 2 中国における分散型エネルギーの導入促進策に関する分析
○任洪波（立命館大学）・周イ生（立命館大学）・仲上健一（立命館大学）
討論者：山本雅資（富山大学）
- 3 エネルギー持続地帯指標に見る日本の再生可能エネルギーの現状
倉阪秀史（千葉大学）・松原弘直（特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所）・
川崎俊郎（特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所）・野田徹郎（日鉄鋼コンサルタント株式会社）・
笹田政克（特定非営利活動法人地中熱利用促進協会）・泉浩二（特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所）・
山下紀明（特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所）・○馬上丈司（千葉大学）・
松尾寿裕（社団法人小水力開発支援協会）・山達達也（特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所）・
関口智久（千葉大学）
討論者：仲上健一（立命館大学）

H2 環境マネジメントシステム H会場 D43

座長：國部克彦（神戸大学）

- 1 環境リスクと企業の環境対応行動
○金原達夫（広島修道大学）・藤井秀道（テキサス大学）・金子慎治（広島大学大学院）・川原博満（環境計画研究所）
討論者：尾身祐介（電力中央研究所）
- 2 Risk Assessmentの定義の相違と日本語訳の問題 — 化学物質に関する米国、日本、国連IPCS/OECDなどの定義と、ISO/JIS、労働安全衛生法の定義 —
○大島輝夫（化学品安全管理研究所）
討論者：増沢陽子（名古屋大学）
- 3 経営者業績評価における排出権取引会計の影響
○野田昭宏（東京都市大学）
討論者：國部克彦（神戸大学）
- 4 環境配慮型経営と企業パフォーマンス
○尾身祐介（（財）電力中央研究所）・後藤美香（（財）電力中央研究所）・朝野賢司（（財）電力中央研究所）
討論者：中野牧子（名古屋大学）

I 2 環境技術・環境ビジネス I会場 D44

座長：伊藤康（千葉商科大学）

- 1 日本の硫黄酸化物排出削減技術の開発と普及そしてその制度的要因
○松野裕（明治大学）・寺尾忠能（アジア経済研究所）・伊藤康（千葉商科大学）・植田和弘（京都大学）
討論者：大森正之（明治大学）
- 2 エコ・テクノストラクチャーの形成に資する環境経済の理論と実際：M. ロイストンの「公害防止は儲かる」仮説を支持する事例研究に基づいて
○大森正之（明治大学）
討論者：伊藤康（千葉商科大学）
- 3 環境経済政策と企業経営（電気通信産業を例として）
○前田穰（NTTGP-ECOcommunication, Inc.）
討論者：松野裕（明治大学）
- 4 遺伝資源アクセスと利益配分（ABS）と新革新的資金メカニズム（COP9 決議 IX/11）との関係 — 生物多様性条約の課題 —
○林希一郎（名古屋大学）
討論者：西宮洋（地球環境戦略研究機関）

J 2 地域 J会場 D52

座長：田島夏与（立教大学）

- 1 ニューヨーク市における公園緑地の民間管理の現状と課題
○田島夏与（立教大学）
討論者：霜浦森平（千葉大学）
- 2 発展途上国の経済発展プロセスにおける動的な補償原理の問題点 — ブラジル・法定アマソンの熱帯雨林面積減少経路を事例に —
○大瀧正子（立命館大学大学院）
討論者：林公則（日本学術振興会特別研究員）
- 3 本州製紙江戸川工場事件（浦安漁民事件）後の排水処理とパルプ生産
○寺尾忠能（アジア経済研究所）
討論者：寺西俊一（一橋大学）
- 4 横田基地騒音公害被害の社会的費用
○林公則（日本学術振興会特別研究員）
討論者：除本理史（東京経済大学）

K 2 漁業・海洋生態系 K会場 D53

座長：東田啓作（関西学院大学）

- 1 海洋生物資源管理における生態系アプローチの適用：国際比較と日本への政策的含意
○大久保彩子（東京大学）
討論者：真田康弘（神戸大学）
- 2 沖縄県「海浜を自由に使用するための条例」と入浜権：オープン・コモンズの視点からの考察
○三輪大介（兵庫県立大学）・室田武（同志社大学）
討論者：敷田麻実（北海道大学）
- 3 沿岸環境保全主体としての漁業協同組合の現状と課題
○田村典江（アミタ持続可能経済研究所）
討論者：東田啓作（関西学院大学）

L 2 流域管理 L会場 D54

座長：田中勝也（滋賀大学）

- 1 流域の環境再生に向けたガバナンス — 中国太湖流域へのアプローチ —
○大塚健司（アジア経済研究所）・藤田香（桃山学院大学）
討論者：野田浩二（武蔵野大学）
- 2 ポストン都市圏による水源地への支払制度の実態研究
○高橋卓也（滋賀県立大学）
討論者：田中勝也（滋賀大学）
- 3 水利権制度の近代化と英国 1963 年水資源法
○野田浩二（武蔵野大学）
討論者：三俣学（兵庫県立大学）
- 4 流域環境政策と地方分権推進
○角田季美枝（千葉大学大学院社会文化科学研究科）
討論者：高橋卓也（滋賀県立大学）

M2 環境ガバナンス（2） M会場 A201

座長：松下和夫（京都大学）

- 1 レジ袋削減政策のポリシーミックス
○熊捕崇将（早稲田大学）
討論者：李態妍（龍谷大学）
- 2 「水銀条約」制定の検討過程における主要国の連合等についての一考察
○瀬川恵子（環境省環境保健部環境安全課）
討論者：松下和夫（京都大学）
- 3 アジアにおける越境大気汚染に対する取組に関する考察
○山下研（財団法人日本環境衛生センター酸性雨研究センター）
討論者：青正澄（名古屋大学）

N2 環境経済理論：モデル分析（1） N会場 A202

座長：赤尾健一（早稲田大学）

- 1 Recycle Content Standard, Environmental R&D and Firm Competition
○本間聡（九州産業大学）・Chang, Ming-Chung（Kainan University）
討論者：新熊隆嘉（関西大学）
- 2 Global Reuse
○横尾英史（京都大学大学院・日本学術振興会）・Thomas C. Kinnaman（Bucknell University）
討論者：本間聡（九州産業大学）
- 3 Non-cooperative and Cooperative Water Uses in a River Basin
大沼あゆみ（慶應義塾大学）・○坂上紳（慶應義塾大学）
討論者：赤尾健一（早稲田大学）
- 4 金融保証の義務化の経済効果について — 一般均衡モデルによる分析 —
○桑名謹三（法政大学環境政策研究所）
討論者：有村俊秀（上智大学）

O2 英語セッション（2） O会場 A203

座長：梅津千恵子（総合地球環境研究所）

- 1 Optimal Strategies for Surveillance and Control of Forest Pathogens
○堀江哲也（ミネソタ大学）・Frances R. Homans（ミネソタ大学）・Robert G. Haight（USDA Forest Service）・Robert C. Venette（USDA Forest Service）
討論者：木島真志（東北大学）
- 2 Payment for Watershed Services (PWS) in Developing Countries - The Perspectives of System Integrity and Incentive Pattern
○Hebin Lin（京都大学）・Akihisa Mori（京都大学）
討論者：梅津千恵子（総合地球環境研究所）
- 3 Biodiesel blend as strategy for local emission mitigation in Megacities : Case study from Sao Paulo Metropolitan Region, Brazil.
○Kaneko, Shinji（Hiroshima University, Graduate School for International Development and Cooperation-IDEC）・Goto, Daisaku（Hiroshima University, Graduate School for International Development and Cooperation-IDEC）
討論者：森晶寿（京都大学）

分科会 III 9月27日（日）13:20～15:00

A3 温暖化：国内政策（2） A会場 D22

座長：横山彰（中央大学）

- 1 省エネ需要側管理（DSM）と他の省エネルギー政策が、米国の電力需要に与える効果分析
○有村俊秀（上智大学）・Richard Newell（Duke University）・Karen Palmer（Resources for the Future）・Yatziri Zepeda Medina（Resources for the Future）
討論者：木村宰（電力中央研究所）
- 2 鉄鋼資源循環が温暖化対策に与える影響の分析
○高山寛人（日本総研）・増井利彦（国立環境研究所）
討論者：河瀬玲奈（京都大学）
- 3 日本における自動車税のグリーン化 — 政策過程における政策変容を中心に —
○伊藤幸喜（東北大学）
討論者：横山彰（中央大学）

B3 温暖化：データ分析（1） B会場 D23 座長：田中裕人（東京農業大学）

- 1 日本の河川下流域における地球温暖化に伴う浸水被害の経済評価
○長谷川良二（茨城大学）・田村誠（茨城大学）・桑原祐史（茨城大学）・横木裕宗（茨城大学）・三村信男（茨城大学）
討論者：高橋義文（北星学園大学）
- 2 エネルギー部門のR&Dを考慮した日本経済のヴィンテージ資本モデル — 2050年の国内CO₂排出量を1990年比50%に削減するシナリオの分析 —
○畠瀬和志（神戸大学）
討論者：坂上紳（慶應義塾大学）
- 3 日本における気候変動による農業生産性への影響
○田中健太（横浜国立大学）・山本康貴（北海道大学）・近藤功庸（旭川大学）・笹木潤（東京農業大学）・増田清敬（滋賀県立大学）・馬奈木俊介（横浜国立大学）
討論者：梅津千恵子（総合地球環境学研究所）

C3 排出量取引（1） C会場 D24 座長：前田章（京都大学）

- 1 排出権取引による水質汚濁負荷削減の影響分析 — ベンチマーク&クレジット方式の併用 —
○奥田隆明（名古屋大学）・赤根幸二（名古屋市）
討論者：松波淳也（法政大学）
- 2 排出量取引制度が日本企業の国際競争力に与える影響
○明日香壽川（東北大学）・金本圭一朗（東北大学）
討論者：前田章（京都大学）
- 3 エネルギー政策が排出権取引に与える影響分析
○東愛子（京都大学）
討論者：新澤秀則（兵庫県立大学）

D3 企画 環境評価チュートリアル：最新テクニックすべて教えます D会場 D32 座長：竹内憲司（神戸大学）

- 1 表明選好アプローチの最新テクニック
○栗山浩一（早稲田大学）
- 2 顕示選好アプローチの最新テクニック
○柘植隆宏（甲南大学）
- 3 実験経済学の最新テクニック
○三谷羊平（コロラド大学）

E3 廃棄物政策（1） E会場 D33 座長：笹尾俊明（岩手大学）

- 1 産業廃棄物税の最終処分抑制効果に関するパネルデータ分析
○笹尾俊明（岩手大学）
討論者：山下英俊（一橋大学）
- 2 Reexamining the waste-income relationship : evidence from Japan
○山本雅資（富山大学）・一ノ瀬大輔（慶應義塾大学）
討論者：碓井健寛（創価大学）
- 3 Estimating the Sustainability of Economic Incentives Using Panel Data - Household Waste Reduction and Promotion of Sorting Recyclables
○碓井健寛（創価大学）
討論者：山本雅資（富山大学）

F3 アジア・途上国：その他 F会場 D34

座長：川島博之（東京大学）

- 1 人口構成の変化に着目したインドの食料需要予測
○関戸一平（東京大学大学院）・川島博之（東京大学大学院）
討論者：野上裕生（アジア経済研究所）
- 2 モンゴルの遊動的牧畜と気候変動予測
○山下哲平（北海道大学）・佐藤友徳（北海道大学）
討論者：古沢広祐（國學院大學）
- 3 途上国における E-waste 管理の課題
○村上理映（鈴木理映・国立環境研究所）・鄭尤城（アジア経済研究所）
討論者：山川肇（京都府立大学）
- 4 途上国における社会課題解決型ビジネス展開支援に関する政策研究
○服部崇（経済産業省）
討論者：長谷川弘（広島修道大学）

G3 再生可能エネルギー（3） G会場 D42

座長：佐藤真行（京都大学）

- 1 グリーン電力基金制度の動学的分析 潜在クラスモデルによるアプローチ
○伊藤伸幸（神戸大学）・竹内憲司（神戸大学）・柘植隆弘（甲南大学）・岸本充生（産業技術総合研究所）
討論者：佐藤真行（京都大学）
- 2 東京都の太陽熱政策パッケージの形成と発展 — 政策移転を考慮した政策形成 —
○山下紀明（環境エネルギー政策研究所）・飯田哲也（環境エネルギー政策研究所）
討論者：大平佳男（法政大学大学院）
- 3 日本の RPS 制度（固定枠制度）に関する理論分析
○大平佳男（法政大学大学院）
討論者：浜本光紹（獨協大学）

H3 環境保全意識とライフスタイル（1） H会場 D43

座長：青柳みどり（国立環境研究所）

- 1 持続可能なライフスタイルを若者はどうとらえているか — UNEP Global Survey on Lifestyles の結果から —
○青柳みどり（国立環境研究所）・山崎聖子（電通総研サステナビリティ研究部）・
吉澤庸子（電通総研サステナビリティ研究部）
討論者：根本志保子（日本大学）
- 2 環境配慮行動促進型ポイント制度の概念と特徴
○田崎智宏（独立行政法人国立環境研究所）・沼田大輔（福島大学）
討論者：石田葉月（福島大学）
- 3 環境税導入による環境教育投資効果についての一考察
○稲垣雅一（東北大学）
討論者：沼田大輔（福島大学）

I3 企画 経済変動を考慮した国際資源循環の国内対応と国際対応 I会場 D44

座長：寺園淳（国立環境研究所）

討論者：細田衛士（慶応義塾大学）、石川雅紀（神戸大学）

- 1 経済変動による国際資源循環の影響と PET の事例研究
○寺園淳（国立環境研究所）
- 2 循環資源の輸出とリサイクル制度 — PET ボトルのリサイクルを事例として —
○佐竹正夫（東北大学）
- 3 鉄スクラップの国内リサイクル維持政策の評価
○山崎雅人（上智大学）
- 4 循環資源貿易と国内リサイクル政策に関する一考察：経済理論モデルを踏まえて
○道田悦代（アジア経済研究所）
- 5 景気変動が国際資源循環に及ぼす影響：再生資源市場のモデル分析
○山下英俊（一橋大学）
- 6 再生資源貿易に関する政策課題と経済モデル分析
○小島道一（アジア経済研究所）

J3 農業・食料 J会場 D52 座長：羅星仁（広島修道大学）

- 1 韓国の「緑色成長戦略」とバイオマス利用
○吉田央（東京農工大学）
討論者：羅星仁（広島修道大学）
- 2 環境保全型農業の採択と危険回避度・時間割引率
○藤栄剛（滋賀大学）・井上憲一（島根大学）・佐々木宏樹（OECD）・川崎賢太郎（農林水産政策研究所）・小糸健太郎（酪農学園大学）
討論者：矢部光保（九州大学）
- 3 都市の拡大が世界の農地面積に及ぼす影響の長期推計
○棟居洋介（東京工業大学）・増井利彦（国立環境研究所）
討論者：藤栄剛（滋賀大学）

K3 企画 捕鯨論争の「解剖学」 K会場 D53 座長：石井敦（東北大学） 討論者：佐藤哲（長野大学）

- 1 捕鯨問題の国際政治史を再検証する
○真田康弘
- 2 「文化」は創り出される — 捕鯨論争の再考 —
○渡邊洋之
- 3 反実仮想法による日本捕鯨外交の分析
○石井敦・大久保彩子
- 4 グリーンピースの実相・その経験論的評価と批判
○佐久間淳子
- 5 マスメディア報道が伝える「捕鯨物語」
○佐久間淳子・石井敦

L3 企画 東アジアの持続可能な発展と環境財政改革 L会場 D54 座長：森晶寿（京都大学） 討論者：松岡俊二（早稲田大学）

- 1 韓国の環境財政改革
○李秀澈（名城大学）
- 2 台湾の環境財政改革
○陳禮俊（山口大学）
- 3 大陸中国の環境財政改革
○金紅実（京都大学）
- 4 日本の環境財政改革と環境財政研究の課題
○植田和弘（京都大学）

M3 企画 温室効果ガス削減の中期目標に向けたこれまでの検討と今後の見通し・日本の進路 M会場 A201 座長：増井利彦（国立環境研究所）

- 1 これまでの議論の整理
○増井利彦（国立環境研究所）
- 2 国際的な視点から見た我が国の温暖化対策の費用と削減ポテンシャル
○花岡達也（国立環境研究所）
- 3 日本における対策と影響
○藤野純一（国立環境研究所）
- 4 温暖化による被害
○脇岡靖明（国立環境研究所）
- 5 温室効果ガス削減における衡平性
○亀山康子（国立環境研究所）
- 6 今後の展望
○環境省（予定）
- 7 総合討論 低炭素社会に向けた日本の進路
上記報告者、本企画セッション参加者、産業界・NGOからの参加者による討議

N3 環境経済理論：モデル分析（2） N会場 A202

座長：佐藤公敏（立教大学）

1 土壌汚染対策の現状と実効性のある土壌汚染対策法のあり方

○濱谷幸子（三重県桑名農政環境事務所環境室）・広瀬雄彦（九州大学工学府機械科学専攻）・
荒山裕行（名古屋大学経済学研究科）
討論者：一ノ瀬大輔（慶応大学）

2 Incentives in the Hedonic MDP Procedures for the Global Atmosphere as a Complex of Gaseous Attributes

○佐藤公敏（立教大学）
討論者：西村一彦（日本福祉大学）

3 環境被害の連帯責任時における経済主体の戦略について — 進化ゲーム的アプローチ —

○澤田英司（慶應義塾大学）
討論者：赤尾健一（早稲田大学）

分科会 IV 9月27日（日）15:15～16:55

A4 温暖化：国内政策（3） A会場 D22

座長：新澤秀則（兵庫県立大学）

1 乗用車のリバウンド効果：マクロデータとマイクロデータによる推定

○溝渕健一（松山大学）
討論者：岩田和之（上智大学）

2 「中期目標検討委員会」における日本経済研究センター CGE モデルについての解説

○武田史郎（関東学園大学）・川崎泰史（日本経済研究センター）・落合勝昭（日本経済研究センター）・伴金美（大阪大学）
討論者：鷲田豊明（上智大学）

3 地域特性に適した温暖化対策のあり方に関する研究

○奥岡桂次郎（名古屋大学）・白川博章（名古屋大学）
討論者：溝渕健一（松山大学）

4 国際競争力に配慮した炭素価格政策 — 産業連関基本分類を用いた分析 —

○杉野誠（上智大学）・有村俊秀（上智大学）
討論者：渡邊隆俊（愛知学院大学）

B4 温暖化：データ分析（2） B会場 D23

座長：明日香壽川（東北大学）

1 科学アセスメントと「客観的」なメディア：日本における IPCC 報道の言説構造

○朝山慎一郎（時事通信）・石井敦（東北大学）
討論者：青柳みどり（国立環境研究所）

2 イベント・ヒストリー分析による国際環境条約の締約要因に関する研究

○楊ぎょく（国立環境研究所）・山形与志樹（国立環境研究所）
討論者：明日香壽川（東北大学）

C4 排出量取引（2） C会場 D24

座長：西條辰義（大阪大学）

1 ヨーロッパ排出権取引制度における目標達成における企業戦略 — アイルランドにおける EUETS 導入施設を例にして —

○山本芳華（摂南大学）
討論者：岩田裕樹（京都大学）

2 国際競争力及びリーケージ問題に配慮した排出量取引制度の設計 — 応用一般均衡分析による生産量に基づく排出枠配分の研究 —

武田史郎（関東学院大学・上智大学）・有村俊秀（上智大学）・○爲近英恵（上智大学）・
Carolyn Fisher (Resources for the Future) ・ Alan Fox (US International Trade Commission)
討論者：西條辰義（大阪大学）

3 共有物品税ポイントスキームの試案

○山川宏（（株）富士通研究所）・駒場祐介（（株）富士通研究所）
討論者：山本芳華（摂南大学）

D4 企画 環境評価チュートリアル：最新テクニックすべて教えます（続き） D会場 D32

E4 廃棄物政策（2） E会場 D33

座長：碓井健寛（創価大学）

- 1 ごみ有料化自治体におけるリバウンドの実態とその要因分析
山本香苗（永大産業（株））・○山川肇（京都府立大学）
討論者：碓井健寛（創価大学）
- 2 リユースペットボトルが消費者に受け入れられるための方策について
○沼田大輔（福島大学）・馬奈木俊介（横浜国立大学）
討論者：笹尾俊明（岩手大学）
- 3 容器包装廃棄物の排出削減による経済影響
○田邊千英（東京工業大学大学院）・増井利彦（国立環境研究所）
討論者：金森有子（国立環境研究所）

H4 環境保全意識とライフスタイル（2） H会場 D43

座長：一方井誠治（京都大学）

- 1 家庭部門における温室効果ガス削減行動メカニズム
○一方井誠治（京都大学）・佐々木健吾（名古屋学院大学）・石川大輔（財務省財務総合政策研究所）・栗田郁真（京都大学）
討論者：伴金美（大阪大学）
- 2 一般の人々の温暖化問題に対する関心へのマスメディア報道量の影響
○三瓶由紀（国立環境研究所地球環境研究センター）・青柳みどり（国立環境研究所社会環境システム研究領域）
討論者：平原隆史（千葉商科大学）
- 3 住民意識を反映した環境政策の展開に関する研究 — 沼田川流域圏・三原市の事例を中心として —
○熊谷成則（広島大学大学院）
討論者：一方井誠治（京都大学）

I4 企画 経済変動を考慮した国際資源循環の国内対応と国際対応（続き） I会場 D44

J4 コモンズ J会場 D52

座長：三俣学（兵庫県立大学）

- 1 共同体レベルの環境ガバナンスにおける社会関係資本
○石原広恵（ケンブリッジ大学）・Unai Pascual（ケンブリッジ大学）
討論者：大野智彦（京都学園大学）
- 2 行政の硬直的対応下で進む財産区の危機的状況 愛知県豊田市稲武地区を事例から
○三俣学（兵庫県立大学）・齋藤暖生（東京大学）
討論者：泉留維（専修大学）
- 3 コモンズの衰退要因に関する一考察
○廣川祐司（京都大学）
討論者：石原広恵（ケンブリッジ大学）
- 4 自然資源を永続的に維持するための一考察 将来世代の必要充足の能力を損なわぬために
○中川和雄（無）
討論者：三俣学（兵庫県立大学）

K4 企画 捕鯨論争の「解剖学」（続き） K会場 D53

L4 企画 東アジアの持続可能な発展と環境財政改革（続き） L会場 D54

M4 企画 温室効果ガス削減の中期目標に向けたこれまでの検討と今後の見通し・日本の進路（続き） M会場 A201

N4 環境経済理論：モデル分析（3） N会場 A202

座長：松本茂（青山学院大学）

- 1 産業廃棄物課税と産廃処理地の決定に関する研究
○平瀬和基（東洋大学）・和田良子（敬愛大学）・金子林太郎（敬愛大学）
討論者：草川孝夫（広島修道大学）
- 2 Environmental tax and public ownership in a vertically related market
○大堀秀一（岐阜聖徳学園大学）
討論者：松本茂（青山学院大学）

千葉大学 西千葉キャンパス案内図



総合校舎

← 東京

J R 総武線各駅停車

千葉大正門

京成みどり台駅改札から
千葉大正門まで約400m

京成みどり台駅から千葉大正門経由
総合校舎まで徒歩約15分

千葉大南門

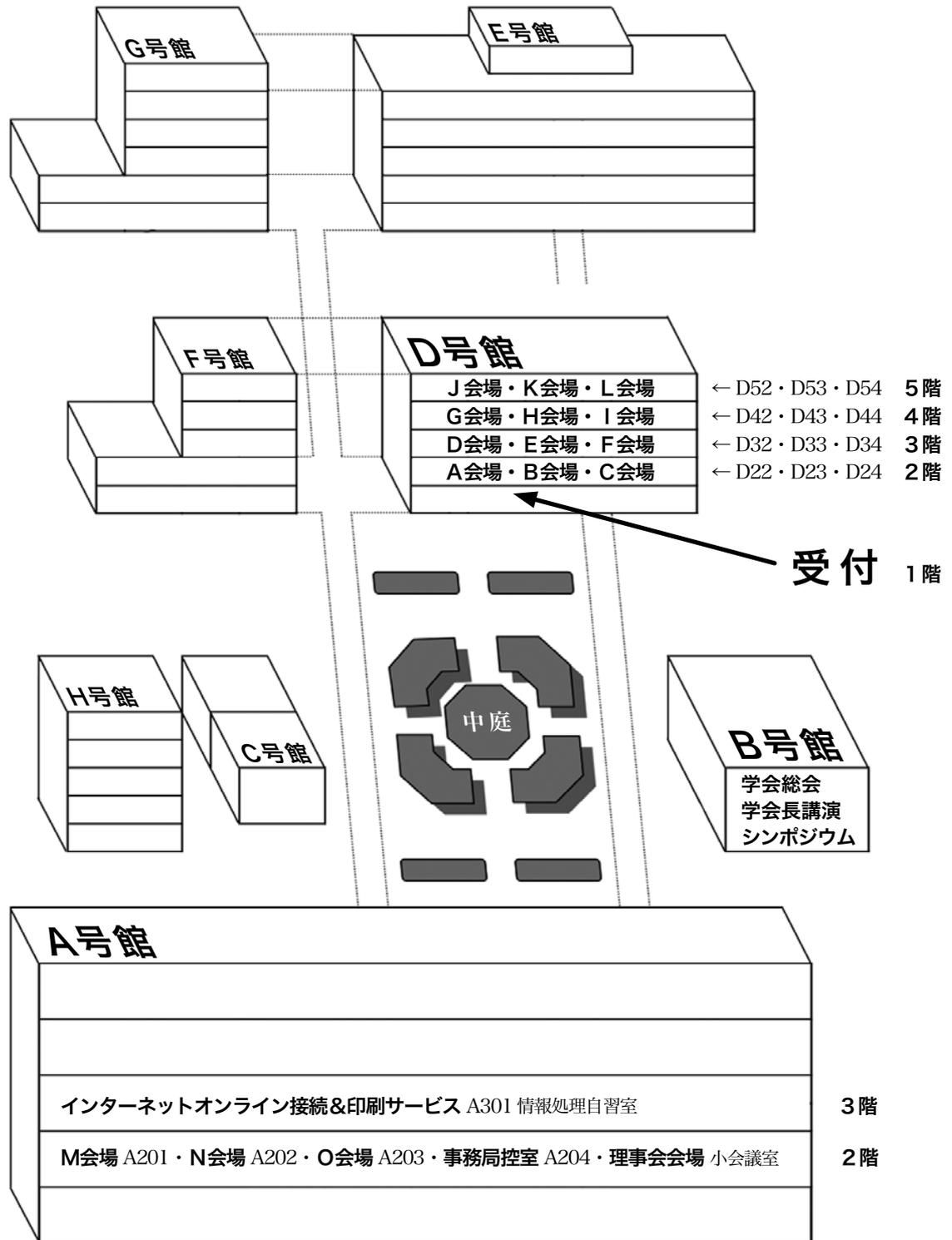
J R 西千葉駅北口から千葉大南門まで約50m

J R 西千葉駅から千葉大南門経由 総合校舎まで徒歩約15分

西千葉駅 千葉

- ① 事務局
- ② 学生部
- ③ 総合安全衛生管理機構
- ④ 国際教育センター
- ⑤ 総合メディア基盤センター
- ⑥ アイソトープ実験施設
- ⑦ 総合校舎 普通教育センター
言語教育センター
- ⑧ 産学連携・知的財産機構
- ⑨ 環境リモートセンシング研究センター
- ⑩ ベンチャービジネスラボラトリー
- ⑪ 附属図書館
- ⑫ 文学部・法経学部
- ⑬ 教育学部
- ⑭ 理学部
- ⑮ 理学部2号館
- ⑯ 薬学部
- ⑰ 工学部
- ⑱ 工学系総合研究棟
- ⑲ 大学院人文社会科学研究科
- ⑳ 自然科学系総合研究棟1
- ㉑ 自然科学系総合研究棟2
- ㉒ 社会文化科学系総合研究棟
- ㉓ 附属幼稚園
- ㉔ 附属小学校
- ㉕ 附属中学校
- ㉖ けやき会館
- ㉗ 体育施設
- ㉘ 正門
- ㉙ 南門
- ㉚ 北門
- ㉛ 厚生施設
- ㉜ フロンティアメディカル工学研究開発センター
- ㉝ 分析センター

総合校舎 会場配置図



理事会会場： 総合校舎 A号館 2階 小会議室

事務局控室： 総合校舎 A号館 2階 204

インターネットオンライン接続 & 印刷サービス： 総合校舎 A号館 3階 301 情報処理自習室
当日は無線LAN接続サービスも用意し、
総合校舎内のどこにいてもインターネットが利用できるよう整備する予定です。



**環境経済・政策学会
2009年千葉大会**

実行委員会

伊藤 康
(千葉商科大学)

川上 毅
(環境省)

工藤 秀明
(千葉大学)

倉阪 秀史 ○
(千葉大学)

平原 隆史
(千葉商科大学)



プログラム委員会

赤尾 健一
(早稲田大学)

植田 和弘
(京都大学)

亀山 康子
(国立環境研究所)

倉阪 秀史
(千葉大学)

栗山 浩一
(早稲田大学)

竹内 健司
(神戸大学)

細田 衛士 ○
(慶応大学)

松波 淳也
(法政大学)

山下 英俊
(一橋大学)

鷺田 豊明
(上智大学)



大会事務局

千葉大学法経学部
倉阪研究室

〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町 1-33

sec@cs2009.

sustainable-zone.org